

つくばみらい市地球温暖化対策実行計画【区域施策編】に対する意見の内容および
市の考え方

意見提出期間	令和7年12月14日（日）～令和8年1月13日（火）		
意見提出者数	3人	意見件数	13件

No.	意見項目	意見の内容	件数	市の考え方
1	本編 p22～p24 5.3 温室効果ガスの詳細分析の結果	電気の温暖化係数はよく変わることで、CO ₂ 排出量とともに電気使用量を併記しての評価が望まれます。ガソリン等の燃料についても同様です。	1	<p>■原案どおりとします。</p> <p>本計画は、国及び県の計画に基づいて策定しており、これらの計画では電気使用量や燃料使用量の併記を行っていないため、原案どおりとさせていただきます。</p>
2	本編 p30 7.1 再生可能エネルギーの概要	<p>『・過度な森林伐採など、環境・防災への影響がある。』という文言の追記を提案します。</p> <p>北海道道東地域や千葉県鴨川市、茨城県牛久市で、メガソーラー業者による自然破壊が問題になっています。</p> <p>鬼怒川決壊の原因は、太陽光パネル設置のために堤防を掘削したため起こったという報道もあります。</p> <p>太陽光発電の設置場所も、設置場所を間違えれば、自然破壊だけでなく農地・生活の場の破壊につながると考えます。</p>	1	<p>■原案どおりとします。</p> <p>本計画は、国及び県の計画に基づき、本市の「ゼロカーボンシティ」の実現に向けた基本的な方向性を示すことを目的としているため、個々の事案に伴う環境・防災面の影響までは記載しておりません。</p> <p>これらについては、事業実施の段階で関係法令等に基づき適切に判断されるべきものであることから、原案どおりとさせていただきます。</p>

3	<p>本編 p33 7.4 導入ポテンシャル量</p>	<p>太陽光パネルは、高温（25℃以上）になると発電量が低下し、反射により周辺の気温を上昇させます。</p> <p>昨今の温暖化により春・夏・秋は高温となる時期が長期化していますが、高温による発電量低下を考慮できているでしょうか？できていない場合は、表に算出条件（気温、日照条件など）を追記した方が分かりやすいと思います。（REPOSにより算出、だけでは不十分かと思えます。）</p>	1	<p>■原案どおりとします。</p> <p>国が提供する再生可能エネルギー情報提供システム（REPOS）は、気候や気温、日照条件を考慮し、算出した地域別発電量の推計値となっているため、原案どおりとさせていただきます。</p>
4	<p>本編 p36 8.本市の温室効果ガスの削減目標 本編 p37 9.各部門における削減目標</p>	<p>一人あたりの評価指標の設定はいかがでしょうか。</p>	1	<p>■原案どおりとします。</p> <p>本計画は、国及び県の計画に基づいて策定しており、これらの計画において、一人あたりの評価指標の設定を行っていないため、原案どおりとさせていただきます。</p>
5	<p>本編 p38 10.目標達成に向けた施策</p>	<p>新たな工業団地でモデル的に取り組めることはないでしょうか。</p>	1	<p>■原案どおりとします。</p> <p>いただいたご意見については、今後進出企業を含め調査研究し、個別に判断させていただくため、原案どおりとさせていただきます。</p>
6	<p>本編 p38 10.目標達成に向けた施策</p>	<p>施策の中に1.低炭素燃料への転換</p> <p>1-1 天然ガスの利用拡大</p> <p>1-2 燃料転換による既存設備の効率化を追記することを提案します。</p>	1	<p>■原案どおりとします。</p> <p>本計画では、再エネ導入、省エネ対策、移動手段の変容、資源循環を施策として掲げ、これらを通じて脱炭素化を推進するため、原案どおりとさせていただきます。</p>

7	<p>本編 p38 10.目標達成に向けた施策 本編 p39 10.1 再エネ導入</p>	<p>再エネ熱利用の発掘の取組ができないでしょうか。高砂熱学さんが得意です。</p>	1	<p>■原案どおりとします。</p> <p>再エネ熱利用の発掘の取組については、内容の具体化ができていないため、原案どおりとさせていただきます。</p> <p>なお、現在も高砂熱学工業株式会社と連携しながら、様々な熱利用の可能性を調査研究しております。</p>
8	<p>本編 p38 10.目標達成に向けた施策 本編 p40 10.2 省エネ対策</p>	<p>バイオ炭の製造と利用による脱炭素化と農業のブランド化の両立ができませんでしょうか。</p>	1	<p>■原案どおりとします。</p> <p>いただいたご意見については、今後調査研究し、個別に判断させていただくため、原案どおりとさせていただきます。</p>
9	<p>本編 p38 10.目標達成に向けた施策 本編 p41 10.4 資源の循環</p>	<p>ごみ処理は広域で行っているの、広域の視点も入れ込めないか。</p>	1	<p>■原案どおりとします。</p> <p>常総地方広域市町村圏事務組合が策定している一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の施策と整合性を図っているため、原案どおりとさせていただきます。</p>
10	<p>本編 p42 11.2 脱炭素シナリオの策定方針</p>	<p>以下、（ ）内容の追加を提案します。</p> <p>国が想定している技術進歩だけでは、本市の脱炭素の達成が難しいことがわかりました。そこで、市民・事業者を含む各主体が省エネや再エネ導入（環境価値付きエネルギーを含む）の促進（および天然ガスなど従来より低炭素への転換）は行いつつも、水素等のクリーン燃料の使用、行動変容、森林吸収増加を積極的に検討し、脱炭素の達成を目指す。</p>	1	<p>■原案どおりとします。</p> <p>本計画では、再エネ導入、省エネ対策、移動手段の変容、資源循環を施策として掲げ、これらを通じて脱炭素化を推進するため、原案どおりとさせていただきます。</p>

1 1	本編 p42 11.2.2 行動変容	以下、() 内容の追加を提案します。 化石燃料を消費する交通手段を EV や自転車に置き換えることにより CO ₂ 排出量を削減します。(さらに、環境教育などを通じて知識の習得や意識の変化を促し、その結果として持続可能な選択や行動につなげます。) このような (環境教育と) 行動変容を (組み合わせること) でさらなる CO ₂ 削減に繋がります。	1	■原案どおりとします。 環境教育については、既存の環境施策や関係計画等と連携しながら推進していくものと考えていることから、原案どおりとさせていただきます。
1 2	本編 p47～p59 12.8 他自治体における脱炭素施策の導入事例	太陽光発電を導入した事例がほとんどで、それ以外の再生可能エネルギーについての事例が記載されていません。 もみ殻や木質チップを使用してバイオマス発電を行っている自治体がありますが、参考にしないのでしょうか？ また、太陽光発電の導入を促進した結果、自然破壊や農地の減少、周辺住民への悪影響が起こった事例も調べていただきたいと思います。	1	■原案どおりとします。 本計画に掲載している事例は、ポテンシャル調査により本市で導入可能性が高く、実績の多い再生可能エネルギーを参考として示したものです。 また、太陽光発電施設の個々の事案については、事業実施段階で関係法令等に基づき判断されるべき事項であることから、原案どおりとさせていただきます。
1 3	その他	国内肥料資源の循環利用を間接エネルギー評価できないのでしょうか。	1	■原案どおりとします。 本計画は、国及び県の計画に基づいて策定しており、これらの計画では間接エネルギー評価を行っていないため、原案どおりとさせていただきます。